

# 三ヶ日観光振興策提案

## 北区内で学生や住民がプレゼン コンテスト

浜松市北区の三ヶ日町観光協会と静岡大情報学部教授の杉山岳弘研究室は2日、連携して進める観光活性化プロジェクトの一環で、同町の新たな観光振興策を掘り起こす「三ヶ日観光アイデアソン&プレゼンター

シオンコンテスト」を町内で開いた。市内の大学生や高校生、観光に関心の高い住民有志ら5グループが発表した。

参加者は11月下旬にフィールドワークや意見交換を行い、同日の最終発表に臨んだ。最

優秀賞を受賞した北区の住民有志のグループは、三ヶ日の小学校が自転車安全運転全国大会で毎年上位入賞する

点に注目し、地域住民が安全運転の技術を伝えながら、町内の見どころを巡る取り組みを考えた。

提案したグループもあった。優れた企画は今後、同プロジェクトの中で実現を目指す。同協会の中村健二会長は「提案を地域で共有して活性化につなげたい」と話した。

(細江支局・柿田史雄)



観光振興のアイデアを発表する参加者（左側）  
＝浜松市北区三ヶ日町